

2021年 1月 社長よりご挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。

旧年中は皆様の温かいご指導をありがとうございました。

弊社スタッフ一同、気持ちを新たに仕事に励みたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年3月に弊社の創始者である黒崎先生がご勇退されました。

私に社長をバトンタッチしてからはすでに4年ほど経つのですが、その後も未熟者の私のすることを後ろでしっかりと支えてくださっていたわけで、いよいよこれからは私が独り立ちしなくてはならなくなりました。

社長に就任してからのこの数年、私なりに、THMSがより顧客様に愛され、地域や業界に根付いた100年企業になるためには一体どのような会社であるべきなのか？ということを考えてはきたのですが、今回の黒崎先生のご勇退を機会に、「会社の進むべき方向」や「どんな会社を作っていくべきなのか」ということを改めて考え整理し、そしてそれらを1つの言葉にまとめ、「経営理念」という形にしてみようと思いました。

今までの弊社には、このような言葉が無くとも黒崎先生自身が「社のありかた」を示現していたようなところがあったわけですが、これからのTHMSをつくっていくためには、社員みんなが一丸となって目指せる社の「柱」となるような理念が必要だと考えたからです。これを考えるにあたっては、「私佐竹がこの会社をどうしたいのか？」という視点からではなく、「創始者黒崎先生がどういう思いでこの会社を作ったのか？」そして「顧客農家さんと社員たちがこの会社がどうあって欲しいと思っているのか？」という視点から考えたつもりです。

<経営理念>

**(株)トータルハードマネジメントサービスは「誠実さ」「チャレンジ精神」
そして「総合的な牛群管理技術の提供」をもって農家とともに歩み、地域・業界の発展に貢献する**

「誠実さ」には、お客さんへの誠実さ、チームの仲間へたいする誠実さ、仕事というものに対する誠実さ、そういういくつもの「誠実」を意味しています。

いくら素晴らしい技術や知識を持っていても、誠実さに欠けてしまっていれば仕事の質はおのずと高く維持することはできないでしょう。逆に技術や知識が多少稚拙であったとしても、誠実さあふれる仕事というのは必ずひとの心を打つ仕事になるでしょう。

社のみんなが、顧客様、チームの仲間、仕事に対して「誠実さ」もって取り組んでいる、そんな会社になりたいという想いです。

「チャレンジ精神」は、黒崎先生がこの会社を立ち上げたことこそが、まさにチャレンジ精神の現れです。社の開業以来、THMSのスタンスは常に「チャレンジャー」です。チャレンジャーは失敗や負けることを恐れずにつねに進し続けます。

現状のレベルに甘んじることなく、つねに坂の上を向いて進み、より良いものを探し学び取る気迫を忘れずに仕事をしたいという想いです。

「総合的な牛群管理技術の提供」はまさにTHMSの社名そのままです。農場や地域、業界のなかでこの「トータルハードマネジメントサービス」を実践しまくることこそが、この会社の存在意義であり、私たちの目指すべき仕事であろうと思います。

THMSの強みは、様々な技術や知識を持った技術屋が多く集まっていることです。このひとり一人が自らの技術を更に磨き、それらが集まってチームとなって仕事をするので、はじめてこの「総合的な牛群管理技術の提供」を成し得るのではないかと思います。

THMSは、この「誠実さ」「チャレンジ精神」「総合的な牛群管理技術の提供」の3つをもって、「農家さんたちと共に歩み、地域の顧客以外の農家さんや、酪農畜産業界に貢献していく」そんなチームでありたいと思っています。

私たちの経営理念がただの言葉で終わってしまわないよう、理念に沿った仕事ができているか？足りないものは何なのか？をつねにチームで考えながら成長していきたいと思っています。

どうぞ今後ともチーム「トータルハードマネジメントサービス」を宜しく願いいたします。

代表取締役 佐竹直紀